国立文楽劇場開場40周年記念

令和6年11月文楽公演 配役表（大阪国立文楽劇場）

11月2日（土）～24日（日） ※12日（火）は休演

第1部　午前11時開演（午後3時20分終演予定）

仮名手本忠臣蔵（大序より四段目まで）

大序
鶴が岡兜改めの段
織太夫　錦吾郎
栄太夫　燕二郎
亘太夫　清允
碩太夫　清方
聖太夫　藤亮
聖太夫　小住太夫
薫太夫　亘之

恋歌の段
師直　睦太夫
顔世　南都太夫
若狭助　靖太夫　団吾

二段目
桃井館力弥使者の段
希太夫　友之助

本蔵松切の段
三代野澤喜左衛門＝補曲
芳穂太糸夫　錦

三段目
下馬先進物の段
亘太夫　清公

腰元おかる文使いの段
睦太夫　勝平

殿中刃傷の段
勢太夫　清治

裏門の段
小住太夫　清馗

四段目
花籠の段
藤太夫　清友

塩谷判官切腹の段
切
若太夫　清介

城明渡しの段
（聖太夫　薫太夫　清燕二郎）
前　後

足利直義
高師直
塩谷判官
桃井若狭助
顔世御前
奴可内介
関内蔵
古川本蔵
加古川本蔵
妻戸内
娘小浪
大星力弥
早野勘平
鷺坂伴内
腰元おかる
茶道珍才
原郷右衛門
斧九太夫
石堂右馬丞
薬師寺次郎左衛門
大星由良助
仕丁
侍番
腰元
門番
奴
諸士

文字栄太夫　清志
和生　玉志郎
玉佳　文司
清馬　玉路郎
十昇　玉生郎
紋寿　玉輔郎
玉翔　紋寿郎
一吉　玉佳郎
紫寿　勘介
十輔　勘寿郎
勘一　玉郎
玉寿　勘壽郎
玉勘　玉輝郎
玉勘　大男
玉簑　大輝
二　大郎
勘寿　大郎
斧九　大郎
石堂　大郎
右馬　大郎
薬師寺　大郎
大星　大郎
由良　大郎
助　大郎
名　大郎
丁　大郎
元　大郎
番　大郎
士　大郎

第2部　午後4時開演（午後8時30分終演予定）

鞠猿

猿曳名人
太郎冠者
（藤清燕錦清清文織咲希藤
之二亮允郎吾丈郎夫夫夫夫
前　後）

猿太郎冠者名
猿太郎冠者
玉簑紋二
彦郎誉臣

仮名手本忠臣蔵（五段目より七段目まで）

五段目
山崎街道出合いの段
二つ玉の段
寛太郎　碩太夫　靖太夫　清方　団七

六段目
身売りの段
胡弓
藤蔵　織太夫

早野勘平腹切の段
切
宗助　鋸太夫

七段目
祇園一力茶屋の段
由良助　千歳太夫
力弥　碩太夫
喜太八　咲津國寿太夫
弥五郎　亘太夫
仲居　聖太夫
おかる　呂勢太夫
仲居　薫太夫
一力亭主　小住太夫
伴内　三芳穂太夫
九太夫　輪太夫
平右衛門　燕織太夫
後　富三助

早野勘平
千崎弥五郎　文勘
百姓与市兵衛　玉勘　十
斧九太郎　一勘　市郎
おかる　玉簑　勢
与市兵衛女房　玉紋　輔
一文字屋才兵衛　紋勘　彌
めっぽう弥八　玉簑　秀
種ヶ島の六　玉勘　延
狸の角兵衛　玉勘　悠
（　簑勘　征
　簑勘　昇
　紫　也
　太郎　壽
　次郎　郎
　亀八　郎
　勘助　男
　簑　次
　玉　太郎
　玉　翔
　大　助
　大　い
　ぜ
　ぜ
　い
原郷右衛門
鷺坂伴内
斧九太夫
矢間十太郎
竹森喜多八
大星由良助
寺岡平右衛門
駕籠力
仲居
籠力
居
前　後）

※前半…2日（土）～13日（水）
後半…14日（木）～24日（日）

※演目の入れ替えはございません。